

第 11 回東海北陸支部総会

場 所：自然科学研究機構 生理学研究所 大会議室（予定）

開催方法：現地開催

開催日時：2025 年 4 月 12 日（土）13:00～（予定）

■参加方法

総会に出席いただける方は、現地参加となります。

下記の登録フォームから参加申し込みを行ってください。

今回、ご都合がつかず欠席される方は、下記の[登録フォーム](#)から委任状の申し込みを行っていただきますようお願いいたします。

参加申込み締切り日：2025 年 3 月 31 日（月）17:00

第 11 回春期大会 第 448 回 本部共催

場 所：自然科学研究機構 生理学研究所 大会議室（予定）

開催方法：現地とオンラインによるハイブリッド開催

開催日時：2025 年 4 月 12 日（土）13:55～（予定）

==== 第 11 回春期大会のご案内（第 448 回 本部共催）====

- テーマ「繰り返す災害に打ち克つ災害文化と DX を用いた災害対応の新たな取り組み
－動物実験施設や研究施設を多角的な視点から考えてみる－」

過去の災害や防災、そしてデジタルトランスフォーメーション（DX）をキーワードに、前半の二つの演題では、災害に強い社会の構築に向けた道筋や、北海道胆振東部地震における動物実験施設の被害状況、電力復旧までの対応、地震後の整備事例についてお話しいたします。

後半の二つの演題では、防災分野における DX の実例として、自治体との防災活動やクラウド型火災情報共有システムの開発経緯を紹介いたします。

南海トラフが懸念される今、この機会にぜひご参くださいますようお願いいたします。

■タイムテーブル

13:55～14:00 開始挨拶

14:00～14:40 『温故知新で南海トラフ地震に備える』

福和伸夫 先生

（名古屋大学 あいち・なごや強靱化共創センター長 名誉教授）

14:40～14:50 休憩

14:50～15:30 『災害時への動物実験施設の対応について

～北海道における観測史上最大の震度と日本初のブラックアウトを経験して～』

土佐紀子 先生

（北海道大学大学院医学研究院附属動物実験施設 助教）

15:30～15:40 休憩

15:40～16:20 『ICT・デジタル技術を活用した災害対策』

村上正浩 先生

（工学院大学建築学部まちづくり学科 教授

工学院大学防災・減災教育センター 所長）

16:20～16:30 休憩

16:30～17:05 『法令から見る動物実験施設における自動火災報知設備の現状と DX の重要性』

増田誠良 先生

(ホーチキ株式会社 経営管理本部 事業企画部

新事業企画チーム チームリーダー)

17:05～17:10 閉会挨拶

17:30～19:30 情報交換会 (ケータリングを予定)

■参加方法

春期大会および情報交換会の参加申込は、下記のフォームより申し込んでくださいますようお願いいたします。

参加費のお支払い方法に関しては改めてご案内いたします (Passmarket)。

なお春期大会の参加費の振込のご希望等ございましたら、お気軽に事務局までお問い合わせください。

参加申込締切り日：2025年3月24日(月) 17:00

※なおオンラインの参加定員は80名といたします。

オンライン参加は定員に達し次第締め切ります。

■春期大会参加費 ※事前チケット購入制 (PassMarket)

実技協会員 500円

支部賛助 1,000円 (2名まで)

本部賛助 1,500円 (2名まで)

非会員 2,000円

■情報交換会を申し込まれた方へ

春期大会後、生理研内の会場を利用してケータリング形式にて開催いたします。

準備が整い次第開始とします。

情報交換会費 5,000円を、当日受付にてお支払いいただきますようお願い致します。

=====

■支部総会・春期大会 登録フォーム

下記 URL より詳細をご確認ください

<https://forms.office.com/r/AgV7v5Kwh5>

=====